

PAT-NO: JP02002263530A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002263530 A
TITLE: JET HEAD WITH LONG NOZZLE

PUBN-DATE: September 17, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SOMA, SHUNJI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MITANI VALVE CO LTD	N/A

APPL-NO: JP2001063007

APPL-DATE: March 7, 2001

INT-CL (IPC): B05 B 009/04 , B65 D 083/40

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent erroneous operation in a jet head with a long nozzle.

SOLUTION: The jet head with the long nozzle is equipped with a jet head main body 10 having a lateral nozzle part 12 communicating with the vertical nozzle part 11 fitted to a stem 3 and a jet head base part 20 having an upper surface part 22 for covering the upper part of the jet head main body 10 and further covering both sides of the jet head main body 10 to be mounted on the head top part of an aerosol container 1. The base end of a

pipe support arm 30 for supporting the flexible pipe- shaped long nozzle 37 connected to the lateral nozzle part 12 is supported by the arm holder part 31, which is provided to the jet head base part 20 so as protrude forwardly, so as to revolve the pipe support arm 30 from a forward direction to a downward direction. The rear end of the jet head main body 10 is supported on the rear end of the jet head base part 20 so as to make the jet head main body 10 shakable up and down and an operation lever 13 going toward an obliquely downward direction in a forward direction is provided to the under side of the lateral nozzle part 12. The upper surface part 22 is extended forwardly so as to reach the front end of the operation lever 13 not only to form the arm holder part 31 but also to support the base end of the pipe support arm 30 having a length reaching the operation region of the operation lever 13 by the front end thereof.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開

特開2002-21

(P2002-2635)

(43) 公開日 平成14年9月17日

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

ターム

B 0 5 B 9/04

B 0 5 B 9/04

3

B 6 5 D 83/40

B 6 5 D 83/14

E 4

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L

(21) 出願番号 特願2001-63007(P2001-63007)

(22) 出願日 平成13年3月7日(2001.3.7)

(71) 出願人 000144463

株式会社三谷バルブ

東京都千代田区神田佐久間町

(72) 発明者 相馬 俊二

東京都千代田区神田佐久間町

株式会社三谷バルブ内

(74) 代理人 100083208

弁理士 橘留 正治

Fターム(参考) 3E014 PA01 PB01 PD01 PE
PF09

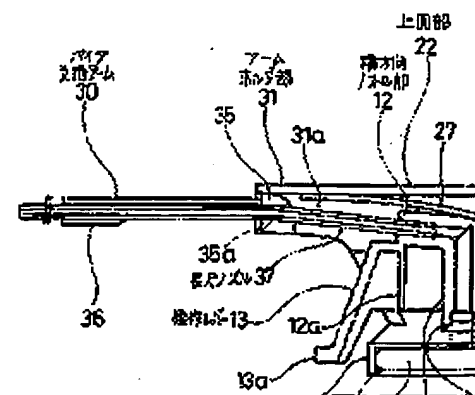
4F033 RA02 RC17

(54) 【発明の名称】 長尺ノズル付噴射ヘッド

(57) 【要約】

【課題】 長尺ノズル付噴射ヘッドにおいて、誤操作を防止し得るようにする。

【解決手段】 ステム3に嵌着する縦方向ノズル部11に連通する横方向ノズル部12を有する噴射ヘッド本体10と、その上方をカバーする上面部22を有し、さらに両側をカバーしてエアゾール容器1の頭頂部に装着される噴射ヘッド基部20とを備える。横方向ノズル部に接続された可撓性パイプ状の長尺ノズル37を支持するパイプ支持アーム30の基端部が、前向きから下向きへ



(2)

特開2002-

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 エアゾール容器の頭頂部から突出するシステムに嵌着する縦方向ノズル部に連通する横方向ノズル部を有する噴射ヘッド本体と、その少なくとも両側をカバーしてエアゾール容器頭頂部に装着される噴射ヘッド基部とを備え、横方向ノズル部に接続された可撓性パイプ状の長尺ノズルを支持するパイプ支持アームの基端部が、このパイプ支持アームを前向きから下向きへ回動させるように、噴射ヘッド基部に前方へ向けて突設されたアームホルダ部に支持された長尺ノズル付噴射ヘッドにおいて、

噴射ヘッド本体が上下に揺動し得るように、その後端部を噴射ヘッド基部の後端部に支持させると共に、横方向ノズル部に、前方へ向けて斜め下方へ向かう操作レバーを下設し、

前記噴射ヘッド本体の上方をカバーする前記噴射ヘッド基部の上面部を、少なくとも前記操作レバーの前端に達するように前方へ延長することによりアームホルダ部を形成すると共に、その前端部で少なくとも前記操作レバーの操作領域に達する長さのパイプ支持アームの基端部を支持することを特徴とする長尺ノズル付噴射ヘッド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、エアゾール容器の頭頂部から突出するシステムに嵌着する縦方向ノズル部に連通する横方向ノズル部を有する噴射ヘッド本体と、その少なくとも両側をカバーしてエアゾール容器頭頂部に装着される噴射ヘッド基部とを備え、横方向ノズル部に接続された可撓性のパイプ状長尺ノズルを支持するパイプ支持アームの基端部が、このパイプ支持アームを前向きから下向きへ回動させ得るように、噴射ヘッド基部に前方へ向けて突設されたアームホルダ部に支持された長尺ノズル付噴射ヘッドに関するものである。

【0002】

【従来の技術】この種の噴射ヘッドは、実開昭60-165062号公報により周知であり、殺虫剤、洗浄剤等を内容物として長尺ノズルの可撓性を利用して不使用時に容器に沿って下方へ折曲げて格納することができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、噴射ヘ

部から突出するシステムに嵌着する縦方向する横方向ノズル部を有する噴射ヘッドなくとも両側をカバーしてエアゾール容器に装着される噴射ヘッド基部とを備え、横方向にされた可撓性パイプ状の長尺ノズルを支持アームの基端部が、このパイプ支持アームから下向きへ回動させるように、噴射ヘッドに向けて突設されたアームホルダ部に支持ル付噴射ヘッドにおいて、噴射ヘッド本体し得るように、その後端部を噴射ヘッドに支持させると共に、横方向ノズル部に、斜め下方へ向かう操作レバーを下設し、噴射ヘッドの上方をカバーする噴射ヘッド基部の上面にも操作レバーの前端に達するように前方によりアームホルダ部を形成すると共に、少なくとも操作レバーの操作領域に達する支持アームの基端部を支持することを特徴【0006】長尺ノズルの格納時に、この支持するパイプ支持アームは、下向きに操作レバーに前置される。

【0007】

【発明の実施の形態】図1乃至図4を基にの形態の一例による長尺ノズル付噴射ヘッドの形態の一例による長尺ノズル付噴射ヘッド。エアゾール容器1の頭頂部に装着されるリングキャップ2は、周知のように、弁機構を有するシステム3を突設させている。は、システム3に嵌着する噴射ヘッド本体のリングキャップ2に装着されて噴射ヘッドをカバーする噴射ヘッド基部20とを備え、基部に噴射ヘッド本体10が上下に揺動している。

【0008】噴射ヘッド本体10は、下部への嵌着部11aを備え、かつシステム3の縦方向ノズル部11と、その上端に前する横方向ノズル部12及びこの横方向の前壁部12aから前方へ突出して下設へ向けて斜め下方へ延びる操作レバー11に合成樹脂で形成されている。噴射ヘッドは、マウンティングキャップ2の円形状に装着されたキャップ部23と、その上

(3)

特開2002-

3

4

に揺動し得るように噴射ヘッド基部20に支持されている。

【0010】横方向ノズル部12の前端部には、可撓性パイプ状の長尺ノズル37が接続されている。上面部22は操作レバー13よりも前方位位置を占めるように延長されることにより、アームホルダ部31が形成されている。その両側は側面部21の縦幅を徐々に狭くした側面部31aを備え、その前端部分には、図3に示すように、軸受穴32が形成されている。この軸受穴には、長尺ノズル37を支持するパイプ支持アーム30の基端部35の両側に突設されたピン35aが回転自在に挿入されている。

【0011】これにより、パイプ支持アーム30は、側面部31a及び基端部35間の摩擦係合により上面部22に沿った略水平の前向き位置に支持されると共に、下向きの格納位置に回動操作可能になっている。長尺ノズル37はアームホルダ部31及びパイプ支持アーム30に沿ってガイドされ、パイプ支持アーム30の先端部に形成されたパイプ部36に挿入され、さらに前方へ突出している。パイプ支持アーム30の長さは、格納時に操作レバー13よりも下方位位置を占めるように設定されている。尚、このパイプ支持アームの長さは、最短でも操作レバー13の操作領域、即ち下端部13aの直前に達するように設定するのが好ましい。一方、長尺ノズル37の長さは、格納時にエアゾール容器1の底面を越えない長さに設定されている。

【0012】このように構成された噴射ヘッドの動作は次の通りである。不使用时には、図4に示すように、パイプ支持アーム30は下方へ折り畳まれて側面部31a及び基端部35間の摩擦係合により格納位置に保持される。この状態で、操作レバー13は、上方をアームホルダ部31でカバーされると共に、パイプ支持アーム30が前置されて対面し、したがって操作レバー13に手が触れにくくなり、誤操作が回避される。

【0013】使用時には、パイプ支持アーム30をアーム*

ホルダ部31に沿った前向き位置に回りのパイプ支持アームにガイドされた長尺パイプ支持アーム30から前方へ突出する。操作レバー13の前方が開放されて操作する。この操作レバーを引くと、噴射ヘッドアームホルダ部31に下方が開放状態でノズル37を僅かに撓ませて操作力を殆どなく、係入穴25aを支点として下方ム3を下動させる。

【0014】

【発明の効果】本発明によれば、長尺ノズルが、格納時に操作レバーの前面にパイプ対面させるトリ方式に構成されることにより、れにくくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態による噴射である。

【図2】同噴射ヘッドの格納時の平面図

【図3】同噴射ヘッドのパイプ支持アーム視図である。

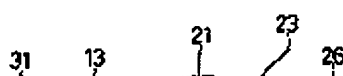
【図4】同噴射ヘッドの不使用时の断面

【符号の説明】

- 1 エアゾール容器
- 2 マウンティングキャップ
- 3 ステム
- 10 噴射ヘッド本体
- 12 横方向ノズル部
- 13 操作レバー
- 20 噴射ヘッド基部
- 22 噴射ヘッド本体の上面部
- 24a 絞係止爪
- 25a 係入穴
- 30 パイプ支持アーム
- 31 アームホルダ部
- 37 長尺ノズル

【図2】

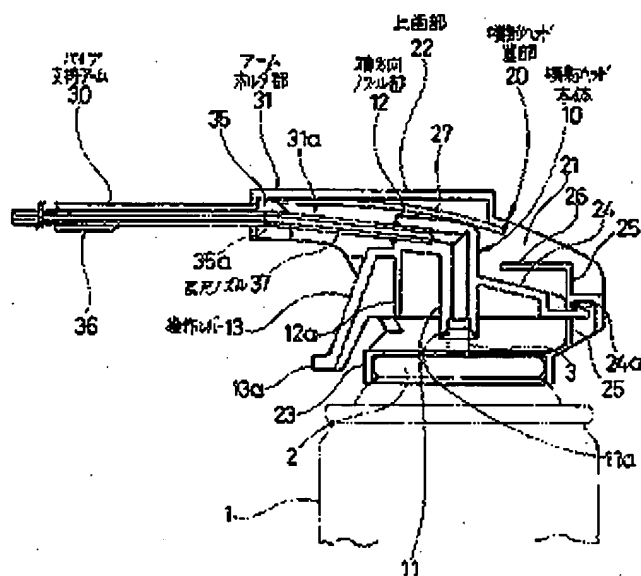
【図3】



(4)

特開2002-

【図1】



【図4】

